

神戸市外国語大学 二部 2012年度コース・シラバス

科目名: 研究指導(中嶋ゼミ)3年

曜日時限: 火曜6限(学部)

担当教員: 中嶋 圭介(法経商コース・専任講師)

研究室: 研究棟807号室

オフィス・アワー: 随時(事前にメールでアポを取ってください)

E-mail: info@knakashima.net (講義に関する質問、欠席連絡、教員とのアポ用)

URL: www.knakashima.net (教員の個人ウェブ。シラバスの最新版、関連資料の掲載用)

主題と目標

今や地球規模で進行する人口高齢化から生じる財政、経済、社会、国際関係問題について基礎知識を習得し、ビジネス経営者や政策担当者の視点から対応戦略を学ぶ。

評価の方法・基準

出席(25%), 発表(25%), リアクション・ペーパー(25%), プレゼン大会(25%)

履修にあたっての注意

- 英語読解能力とパワーポイントを使ったプレゼンテーション能力は必須。加えて、経済学、経営学、国際関係学、人口学、社会保障制度論等を履修した経験があれば、早い理解の助けになる。
- ゼミに関する連絡回覧のため、常時使用可能な PC メールアドレスを初回授業で提出すること。
- リーディング課題を読んで考えたこと、疑問に思ったこと、自分のリサーチで見つけた興味深い文献・データなど(「リアクション・ペーパー」と読む)を、ゼミ前日までに、メーリング・リスト(ML)で他のゼミ生と共有する。発表担当者は、MLで他のゼミ生のリアクション・ペーパーにコメントを返す。このようなオンライン上の双方向の意見・情報交換を経た上で、講義当日、発表担当者がプレゼンテーションで要点のみを解説、確認、さらに理解を深めるためのディスカッションをリードする。

教科書

オンラインで入手できるものが中心。追って指示する。

指定図書

追って指示する。講義前半は、教員が背景資料を提示することもある。やがてその頻度や量を減らし、各自が主体的、効率的に背景リサーチするスキルを身につける。

講義内容

3回生は、「地球高齢化」に関する文献(英語文献を含む)を輪読する。リーディング課題のリストを含むシラバス詳細版、授業で使用したパワーポイント・スライドやその他の資料は、以下のウェブサイトに掲載する。シラバス詳細版は、授業の進度に応じて内容を変更したり、新しい文献と差し替えたりする可能性がある。 < <http://www.knakashima.net/lectures> >

講義の進行の仕方・時間配分

【ゼミ2日前9PM】発表者以外の「リアクション・ペーパー」締切 ⇒

【ゼミ前日9PM】発表者から他のゼミ生への「コメント」締切 ⇒

【ゼミ当日】教員: 出欠確認・導入(5~10分) ⇒

発表担当者: 持ち時間の2/3を担当文献の要約、要点の解説、残り1/3を追加リサーチを踏まえて共有したい他のデータや文献、自身のコメントなどで使う。(15~20分×3人) ⇒

全体ディスカッション(残り時間20分)

リーディング課題

2012 年 9 月 16 日現在

Lecture 1: 4/10/2012 Intro to the Seminar

ゼミ概要の説明。ゼミのテーマである「地球高齢化」(Global Aging) への導入。

Lecture 2: 4/17/2012 Intro to the Challenge of Global Aging (1)

Reading Assignments:

- *Global Aging: The Challenge of the New Millennium* (CSIS, 1999).
<http://csis.org/files/media/csis/pubs/globalaging.pdf>

References:

- 中嶋圭介『3・11 で現実化した「成長の限界」が日本を再生する』「地球高齢化時代」pp.69-92.
- 中嶋圭介「グローバル・エイジング—高齢化によって一変する世界と日本の長期国際戦略 (前編) (後編)」政策空間 (2005 年 11・12 月号)
http://www.policyspace.com/2005/11/post_467.php
http://www.policyspace.com/2005/12/post_477.php

Lecture 3: 4/24/2012 Intro to the Challenge of Global Aging (2)

Reading Assignments:

- *A Special Report on Aging Populations*, *The Economist*, June 25, 2009.
<http://www.economist.com/node/13888045>

上記の特集号の中から以下4つの記事が必修。その他4つはオプショナル。

1. “A slow-burning fuse”
2. “Suffer the little children”
3. “A world of Methuselahs”
4. “Into the unknown”

Lecture 4: 5/8/2012 Falling Fertility and Rising Longevity

Reading Assignments:

- *The Graying of the Great Powers* (CSIS, 2008), Chapter 2, “A Closer Look at the Drivers” (pp. 45-59) (Life Expectancy のセクションの終わりまで)

Notes: 以下のセクションについては、少し専門的知識が必要です(クラス中に私が解説します)ので、飛ばして読んで OK。今回は、“demographic transition” (人口転換)、“demographic dividend” (人口ボーナス)、“replacement rate (level)” (人口置換水準)、“timing shift (effect)” (タイミング効果)、“demographic momentum” (人口モメンタム)などが、理解しておくべきキーワード。

- (1) p. 46, 3 段落目 “In this report---” から p.47, 1 段落目まで (...to cope with the consequences.)
- (2) p. 50, 2 段落目 “In calculating the current-year fertility rate....” から p. 51, 1 段落目まで (...to be happening anywhere.)

References:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』2, 3, 6 章

Lecture 5: 5/15/2012 A Tour of the Developed World

Reading Assignments:

- *The Graying of the Great Powers* (CSIS, 2008), Chapter 2, “A Tour of the Developed World” (pp. 38-45).

Notes: 先進世界の地域分けの定義については、p. 205 の表を参照。今回のリーディング課題は、非常に短いです。発表担当者は、しっかりと背景リサーチをして発表に臨んで下さい。ポイントは、1) 先進地域の人口動態トレンドを理解すること、2) 日本の人口動態の相対的な特徴を知ること。

References:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』1, 2, 3, 6章
- 中嶋圭介「地域別人口動態指標」(CSIS, 2008)

Lecture 6: 5/22/2012 A Tour of the Developing World

Reading Assignments:

- *The Graying of the Great Powers* (CSIS, 2008), Chapter 4, “A Tour of the Developing World” (pp. 162-183).

Notes: 途上世界の地域分けの定義については、p. 205 の表を参照。ポイントは、1) 先進世界との違い、2) 途上世界内での違い、3) 特に BRICS など新興国の動向。

References:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』1, 2, 3, 6章
- 中嶋圭介「地域別人口動態指標」(CSIS, 2008)

Lecture 7: 5/29/2012 Demography and Economy (1): Shrinking Working-Age Population and Female Labor Force

Reading Assignments:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』「第8章 少子高齢化・人口減少の社会経済的影響」 pp.148-155
- 加藤久和 (2007) 『人口経済学』「第4章 労働市場と出生・結婚」「第5章 人口変動とマクロ経済」 pp.92-129

Lecture 8: 6/5/2012 Demography and Economy (2): Shrinking Working-Age Population and Senior Labor Force

Reading Assignments:

- 清家篤 (2002) 『労働経済』「第10章 高齢者雇用の経済分析」 pp.252-281
- 松谷明彦 (2007) 『2020年の日本人』「第1章 日本人の働き方」 pp.67-92
- 八代尚宏 (1999) 『少子・高齢化の経済学』「第8章 高齢者就業と「65歳現役社会」」 pp.141-155

Notes: 退職保障制度は、財政問題のところで詳しく扱う。分からないところを質問として整理しておくくらいにして、ここであまり時間をかけ過ぎないように。焦点は、高齢者労働力の活用です。

Lecture 9: 6/12/2012 Demography and Economy (3): Shrinking Working-Age Population and International Migration

Reading Assignments:

- *A Special Report on Migration, The Economist*, January 5, 2008.
<http://www.economist.com/node/10286197>

上記の特集号の中から以下4つの記事が必修。その他は任意。

1. “Open up”
2. “Of bedsheets and bison grass vodka”
3. “Circulate or integrate”
4. “The long-term”

Lecture 10: 6/19/2012 休講日

Lecture 11: 6/26/2012 Demography and Economy (4): Shrinking Working-Age Population and International Migration (...continued)

Reading Assignments:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』「第9章 世界の人口と国際人口移動」 pp. 176-185
- 松谷明彦 (2007) 『2020年の日本人』「第1章 日本人の働き方」 pp. 93-114
- 『日本の論点』(文藝春秋編)

2011年版

「今こそ「新文明開化」を一移民の受け入れこそ、需要を創り知日派を創る」堺屋太一
[基礎知識] 「日本の「移民国家化」はどこまで進んでいるか？」

2009年版

「「移民一〇〇〇万人」を目指す理由—多文化共生社会こそ日本の生きる道」中村博彦
「西欧の教訓—大量の移民受け入れは日本社会を間違いなく混乱させる」小池和男
[基礎知識] 「移民受け入れ議論の背景に何があるか？」

Lecture 12: 7/3/2012 休講日

Lecture 13: 7/10/2012 Demography and Economy (5): Discussion and Q&A

Reading Assignments: 無し。高齢化進行による労働力減少が経済に与える影響とその対策について、おさらいのための大質問大会とディスカッションを行う。

Lecture 14: 7/17/2012 Demography and Economy (6): Savings & Investment

Reading Assignments:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』「第8章 少子高齢化・人口減少の社会経済的影響」 pp.156-162

- 加藤久和 (2007) 『人口経済学』「第5章人口変動とマクロ経済」 pp.130-137
- Jackson and Howe, *The Graying of the Great Powers*, pp.97-108.

References:

- ポール・ウォレス (2001) 『人口ピラミッドがひっくり返るとき』「第3章人口統計が金融市場を動かす」 pp.67-95.

Lecture 15: 7/24/2012 Demography and Economy (7): Technology (Productivity Improvement)

Reading Assignments:

- 原田泰・鈴木準 (2005) 『人口減少社会は怖くない』「第6章 生産性を上げよう」 pp.123-150
- 加藤久和 (2007) 『人口経済学』「第5章人口変動とマクロ経済」 pp.137-144
- Jackson and Howe, *The Graying of the Great Powers*, pp.108-112.

【後期授業】

Lecture 1: 9/25/2012 Fiscal Challenge: Pension (1)

Reading Assignments:

- 鈴木亘 (2010)『年金は本当にもらえるのか?』ちくま新書「初級編」pp. 12-79

Lecture 2: 10/2/2012 Fiscal Challenge: Pension (2)

Reading Assignments:

- 鈴木亘 (2010)『年金は本当にもらえるのか?』ちくま新書「中級編」pp. 82-150

Lecture 3: 10/9/2012 休講日

Lecture 4: 10/16/2012 Fiscal Challenge: Pension (3)

Reading Assignments:

- 鈴木亘 (2010)『年金は本当にもらえるのか?』ちくま新書「上級編」pp. 152-226

Lecture 5: 10/23/2012 Fiscal Sustainability & Income Adequacy (1)

Reading Assignments:

- Jackson, Howe, and Nakashima, *The Global Aging Preparedness Index*, pp. 1-22.

Lecture 6: 10/30/2012 Fiscal Sustainability & Income Adequacy (2)

Reading Assignments:

- Jackson, Howe, and Nakashima, *The Global Aging Preparedness Index*, pp. 22-43 (Category Three: Benefit Dependence まで).

Lecture 7: 11/6/2012 Fiscal Sustainability & Income Adequacy (3)

Reading Assignments:

- Jackson, Howe, and Nakashima, *The Global Aging Preparedness Index*, pp. 45-52.

Notes: GAP Index の結論にあたるセクションです。20 か国を比較評価してきた結果、各国における政策的対応について議論されています。二つの目標を持って読んで下さい。第一に、各国の高齢化、財政的インパクト、高齢者の経済社会的状況についてイメージを持てるようにすること。第二に、このレポートが各国に提案する政策的対応について理解すること。

Lecture 8: 11/13/2012 Demography & Business (1)

Reading Assignments:

- 朝日新聞社経済部編 (2004)『日本縮小—ダウンサイジング社会への挑戦』第2章2節「コンビニとフェアレディZ——激変する消費社会」pp.60-66
- 日本経済新聞社編 (2006)『人口減少—新しい日本をつくる』第2章1節 pp.44-47、3-4節 pp.55-64
- 村田裕之 (2004)『シニアビジネス—「多様化市場」で成功する10の鉄則』序章 pp.6-23、終章 pp.200-212

Notes: 「人口高齢化とビジネス戦略」のテーマに入ります。この分野の課題は、様々な業界、商品・サービス、国・地域のケース・スタディが中心です。発表者は、内容報告だけでは大変つまらないプレゼンになってしまいますので、ポイントを明確かつ簡潔に。(最近の雑誌・新聞記事等も含めて) 外部資料にも積極的に当たる努力をして下さい。

Lecture 9: 11/20/2012 Demography & Business (2)

Reading Assignments:

- ポール・ウォーレス (2001) 『人口ピラミッドがひっくり返るときー高齢化社会の経済新ルール』草思社
第5章「ビジネスの新しいルール」 pp.111-143
第6章「文化革命」 pp.144-173

Lecture 10: 11/27/2012 Demography & Business (3)

Reading Assignments:

- ポール・ウォーレス (2001) 『人口ピラミッドがひっくり返るときー高齢化社会の経済新ルール』草思社
第3章「人口統計が金融市場を動かす」 pp.67-95
第4章「不動産の新しいルール」 pp.96-110

Lecture 11: 12/4/2012

Lecture 12: 12/11/2012

Lecture 13: 12/18/2012 補講

Lecture 14: 1/8/2013 Work-Life Balance (1)

Lecture 15: 1/15/2013 Work-Life Balance (2)

Lecture 16: 1/22/2013 Work-Life Balance (3)

発表担当

2012 年 9 月 16 日現在

講義日	発表者	リアクション件名*
4 月 10 日		<i>Not applicable.</i>
4 月 17 日		12-0417_GlobalAging(1)
4 月 24 日		12-0424_GlobalAging(2)
5 月 8 日		12-0508_Fertility
5 月 15 日		12-0515_DevelopedWorld
5 月 22 日		12-0522_DevelopingWorld
5 月 29 日		12-0529_FemaleWorkers
6 月 5 日		12-0605_SeniorWorkers
6 月 12 日		12-0612_Migration(1)
6 月 19 日	【休講】	12-0619_Migration(2)
6 月 26 日		なし
7 月 3 日	【休講】	12-0703_Discussion
7 月 10 日		なし
7 月 17 日		12-0717_Savings
7 月 24 日		12-0724_Technology
9 月 25 日		12-0925_Pension(1)
10 月 2 日		12-1002_Pension(2)
10 月 9 日	【休講】	
10 月 16 日		12-1016_Pension(3)
10 月 23 日		12-1023_GAPIndex(1)
10 月 30 日		12-1030_GAPIndex(2)
11 月 6 日		12-1106_GAPIndex(3)
11 月 13 日		12-1113_Business(1)
11 月 20 日		12-1120_Business(2)
11 月 27 日		12-1127_Business(3)
12 月 4 日		
12 月 11 日		
12 月 18 日	【補講】	
1 月 8 日		
1 月 15 日		
1 月 22 日		

*綴りは、全て半角英数。ハイフンとアンダーバーに注意。